

## 図書館員のひみつの本棚 第127回

1979年に出版され、その後入手できなくなっていた本が復刊されました！

『ぼくはイスです』

長 新太／さく 亜紀書房 2016年 1300円

### <お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

### <本の紹介>

いつもだれかにこしかけられているイスが、机にこしかけてみることにした。  
それから外にでかけてみた。いろいろなものにこしかけてやろう。  
木や石や川や山。でもうまくこしかけることはむずかしい。  
すると、山がぼくはつし、山からとけだしたどろどろにんげんがイスを追いかけてきた！

### <子どもに手渡す時のポイント>

ナンセンス絵本と言えば長新太、と言われるほど個性的な作品を多数世に送り出し2005年に惜しまれながら他界された著者の作品が復刊されました！誰にも予想できないような独自の世界観は万人受けするものではありませんが、一度心に響くと忘れられない作品となるようです。今回のこの絵本も、実は私の家族が子ども頃に読んで忘れられなかった1冊。1979年版も、ボロボロになりながら捨てることはできなかったようで我が家にあります。2016年版は文字の書体などが少し変わっていますが、ほぼ初版のままの復刊となっています。普通の物語とは少し違う、ナンセンスの世界を楽しむ本なので、手渡す前に一回読んでみて、この子はきっと好きだろうという子に手渡してみてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか